

令和8年2月6日

保護者の皆様へ

四国中央市立北小学校長 友安 敏博

教育活動アンケートの結果について（ご報告）

向春の候、保護者の皆様方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、先日は教育活動アンケート調査へのご協力をいただき、ありがとうございました。集計ができましたのでお知らせします。下の表は各質問について昨年度（上段）と今年度（下段）の結果を％で表しております。また裏には、主なご意見と学校の対応を載せています。皆様のご意見を参考に、全教職員で力を合わせてより良い学校づくりを進めていきます。今後とも、保護者の皆様方のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度 学校教育活動保護者アンケート（％表示）

回答率 91％

番号	質 問	R 6	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	ほとんど当てはまらない
		R 7				
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	59	59	34	7	0
		53	53	33	13	1
2	子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	42	42	43	15	0
		28	28	52	19	1
3	子どもは、意欲的に家庭学習に取り組んでいる。	32	32	42	17	9
		17	17	50	23	10
4	先生は、一人一人の子どもをよく理解しようとしている。	59	59	36	4	2
		54	54	37	8	1
5	先生は、子どものことについての相談に、適切に応じている。	62	62	28	8	2
		57	57	36	6	1
6	学校は、発達段階に応じて、人権尊重の意識を育てている。	67	67	29	4	0
		48	48	43	8	1
7	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	52	52	46	2	0
		49	49	44	5	2
8	学校は、保護者が授業を参観する機会を多く設けている。	69	69	25	6	0
		63	63	34	3	0
9	学校は、地域や保護者の声をくみとる努力をしている。	62	62	30	8	0
		48	48	41	10	1
10	運動会や音楽会などの学校行事に、参加しやすくなっている。	88	88	12	0	0
		71	71	25	4	0
11	学校だよりや学級だより等は、効果的で役に立っている。	77	77	19	4	0
		58	58	37	4	1
12	学校が保護者に出す文書や電話の応対等は、適切である。	77	77	21	0	2
		60	60	37	3	0
13	学校は、防災教育に取り組んでいる。					
		53	53	44	3	0

【保護者の方のご意見】

- いつもお世話になっています。クラス作りがしっかりできていて、友達とのトラブルや行き渋りも全くありません。学習だけでなく、先生や友達との繋がりを大切にするクラス作りができているお蔭だとありがたく思っています。中学校に上がっても友達との繋がりがしっかりしていると、困った時などお互い助け合えるので、今からも友達との繋がりを大切にするクラス作り学校作りを今のまま続けて下さるとありがたいです。卒業まであと少しですが、全員が楽しく過ごせたたくさん思い出を作ってほしいと思います。いつもありがとうございます。
- いつもお世話になっています。本当に仲の良いクラスで、ありがたい事に毎日楽しく学校に行けています。先生が子どもたちに混ざって一緒にサッカー等昼休みにして下さるのが本当に楽しみなようです。子どもたち一人ひとりの事をしっかり理解して下さっているのがよくわかります。先生が子どもたち同士の繋がりをしっかり作って下さっているお蔭で、親としても安心して学校に行かせる事ができます。勉強だけを教えるのではなく、『子ども達一人ひとりが自分の気持ちをクラスの中で出せるように。一人ひとりが楽しく通えるように。』と関わって下さっている事が親として何よりありがたいです。卒業して中学校に入ってから、今の6松のこの繋がりを子ども達には大切にして助け合える関係で居てほしいなと思います。卒業まで楽しい思い出をたくさん作って、全員が『北小でよかった、6松でよかった』と思える卒業式になればいいなと思います。そうあれる事が北小の一番の良さなので。今からもそういう学校作りクラス作りを続けて下さる事が、親として一番望んでいる事です。2学期も大変お世話になりました。3学期もよろしくお願いします。先生方も良い年末年始をお過ごし下さい。
- 子どもはとても楽しく学習できています。いつもありがとうございます。
- 子どもたちが、友達の気持ちを相手の立場に立って考えられるように、日頃から先生がしっかりと言葉掛けして下さっているのがよくわかります。子どもたち一人ひとりの良さを良く理解して下さっていて、子どもたちの自信に繋がるような言葉掛けや関わりをして下さっているのがありがたいです。うちの子は漢字を覚えるのが苦手ですが、覚えやすい出題の仕方など工夫して下さっているお蔭で大分覚えられるようになっていきます。子ども一人ひとりの特性や良い所をしっかり理解して下さっているのが、何より親として嬉しくありがたく思っています。ご迷惑お掛けしますが、三学期もよろしくお願いします。

主な要望・改善点に対して、今後の対応を確認しました

- 人権学習が多いと感じる。
- 参観日が終わっての人権学習、年1回夜にある人権学習の参加は、参加する、しないの希望制にしてほしい。しない場合は再受講などしないでほしい。

→ 北小学校ではこれまで、全ての教育活動の中心に人権・同和教育を位置付け、毎年の教育実践を積み重ねてきました。

人権・同和教育とは、「人権尊重の意識を高め、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決を目指す教育」のことで、自分の生き方を考えます。

同和問題だけでなく、いじめや障がい者への差別など、様々な人権問題についても、道徳科や総合的な学習の時間を中心に発達段階に応じて学習しています。

子供たちはこれらの学習を通して、自分や友達を大切にする心や実践力を養っています。友達を大切にしたい仲間づくりが少しずつ進んでいるところです。このような豊かな心を育てることで、将来子どもたちが幸せに生きていくことができると信じています。ただ残念ながら、まだまだ友達を大切にしない言動が見られるのも確かです。

保護者の皆様には、学校での学習内容を知っていただき、ご家庭でも子供たちの学びを共に支えていただくために、ご都合を付けてご参加をいただいているところです。お忙しい中を、本当にありがたいと思っています。

どうしても都合の付かない場合は、学校までご連絡ください。個別に対応してまいります。

- テキストや教科書で学べる勉強だけではなく全国的に問題化されているいじめ問題に対して引き続き積極的に取り組んでほしいです。
- 道徳を学ぶ機会を増やし他の人に対する思いやり、協力性、自主性、嫌だやめてほしい、それはいけない事だからやめるべきだ、など自己主張がしっかり出来る様学校でも教育してほしいです。
- 見えない所で嫌な思いをしている子たちがいて、見えない所で言えず泣いて耐えている子たちがいて

ます。そういった道徳を学ぶ事によって今後子供たちの将来が豊かになる事、他を幸せにする喜びを感じる事が生き甲斐になる事を願っています。

→ 先日、人権・同和教育地域参観日で見えていただいた各学年の授業やなかま集会では、このような思いやりを育てる取組でしたが、まだ十分ではないと考えています。道徳の時間だけでなく、集団で取り組む特別活動や日々の教科学習の場面においても、互いの良さを認め合い、協力し合う経験を積み重ねてまいります。

また、思いやりを育むことと並行して、自分の気持ちを適切に伝えたり、いけないことに対して勇気を持って声を上げたりできる力を育てることに注力してまいります。

さらに、担任だけでなく全教職員がそれぞれの場面で子供たちのサインを逃さないよう情報を共有して、組織的に対応してまいります。日頃の観察や月に1回行ういじめアンケートの活用の他に、スクールカウンセラーとの連携も視野に入れます。

今後も、保護者の方や地域の方のご協力をいただきながら、自分や友達を大切にする心を育てていきます。よろしくお願いいたします。

○ 保護者が学校での生活をもっと見れるようにしてほしいです。

→ 昨年度の学校評価でのご意見を受けて、今年度は参観日を1回増やしました。

今後、これまで以上に普段の生活の様子を保護者の方に知っていただくようにするにはどうすればよいか、考えてまいります。

○ 授業中に騒がしいことが多いようです。子どもが言う事なので真意や詳細は分かりませんし、先生も大変だとは分かっていますが、改善出来ればいいのにな…と思います。

→ 落ち着いた環境の中で学習をするというのは子供たちの学力保障上、大変重要なことだと考えています。これについては、毎日の学習状況をしっかり把握するとともに、全校で学習規律の徹底に向けて取り組みます。

○ 運動会は雨天の場合順延で仕事の休みが取れず困りました。延期の場合は次の土日になるといいなと思いました。

→ 運動会が延期になる場合、「お休みの日にできればなあ。」と心から思います。ただ、子供たちの運動会練習も延びていくことや、他の行事との関係等で難しいのが現状です。

○ ペーパーレス化は確認がしやすく助かっていますが、献立表など紙で来るものと学校だよりなど配信で来るものがありわかりにくいので、統一して欲しいです。

→ 現在、学校からのお知らせについては、子供たちも見方がいとお考えられるものは紙で、保護者の方のみにお知らせするものはデータで、というように考えて少しずつ移行しているところです。ただ、同意書を付けているものや市教委から紙で届いたりするものもあり、確かに分かりにくくなっています。改善できる点は、少しでも改善していきたいと考えています。

なお、献立表は、センターから統一されたものが届いています。献立表のデータは、四国中央市教育委員会のページ

<https://www.city.shikokuchuo.ehime.jp/soshiki/33/48912.html>

からダウンロードできるそうです。ご活用ください。

○ 音楽会で楽器や曲の選択などを児童にも意見を聞いて決めさせてあげて欲しい。完璧な演奏ではなくそれぞれの努力やがんばりを尊重してあげて欲しい。子供たちの音楽会なので、6年間同じ楽器を演奏する子もいるそうなので。

→ 音楽会の担当楽器については、1～3年生は普段の授業を観察し、技能を確認しながらある程度学校側で決定していますが、4～6年生はアンケートを取っています。その際、過去の経験も踏まえながら、可能な限り多様な音楽体験ができるよう調整に努めています。

練習の際には一人一人が輝けるように、それぞれの楽器を一生懸命練習しますが、技術の向上だけでなく、練習の過程や一人一人の挑戦を評価しながら、音楽専科教員や担任が連携して指導しています。

また、学校行事は、運動や音楽、図工など様々なジャンルの行事が一年間を通して行われますが、音楽会においても、演奏技能の巧拙だけでなく、それぞれの役割で自分なりの輝きを見付けられるよう支援しています。

曲の決定の際には、音楽的なバランスを考慮しつつも、子供たちの普段の授業での反応や興味・関心を反映できるように努めています。

○ 学業に関係ないルールやこだわりが多すぎるように思う。先生のさじ加減で去年は良かった事が今年はダメだったり またはその逆も。ルールや決まりを守るのは大切な事だと思うが、ただの堅苦しいルールや校則で縛りすぎるのもどうかと思う。

→ 学校での決まりについては、それが子供たちの成長や安全な集団生活にどのようなつながるかという教育的意義を常に立ち返り、時代に沿ったものになるよう検討を行ってまいります。また、全教職員で共通理解を図り、指導のばらつきによって子供たちが戸惑うことのないよう努めてまいります。